

バーチャルリアリティ技術を駆使し、保育現場を 観察・体験・共創できる保育メタバースの実証実験 中間報告

株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所 保育テックチーム
2025年1月10日

背景と課題

・【背景】

- 子どもが長時間を過ごす保育現場には多くの課題もある。
 - 例えば、保育室のスペースが狭く、子どもたちが快適に遊べない。
 - 保育士同士の連携が難しい形に遊具や家具が配置されている。



・【課題】

- 保育現場は個人情報が多くセンシティブな環境であるため、第三者が自由に出入りすることは難しい。
一方、現場の課題解決を行うためには、現場の状況・環境を
しっかり観察し深く理解することが必要である。



目的

保育室には、保育士以外
ほとんど入ることができない！



多様な専門性や背景、立場、スキルを持った人、異なった観点を持つ人と保育現場情報を共有し、
課題解決ができる共創プラットフォームを作る。
現実の保育活動への影響を低減するため、バーチャルリアリティ技術を活用した
保育メタバースを開発する。

- 君津市における保育施設の記録と活用を目的としています。
現在、閉園となった3つの保育園の記録をデジタル化し、君津市公式ウェブサイト内にて3Dデータとして公開いたしました。
- また、みふねの里保育園の3Dデータ撮影を実施いたしました。
これらのデータを活用し、より良い保育環境を実現するための施策を検討しております。



閉園となった3つの保育園の3Dデータについて

- **3Dデータ作成について**

- **撮影場補**：上湯江保育園、久保保育園、常代保育園
- **スキャン方法**：Matterport Pro2による撮影
- **撮影時期**：2023年11月～1月にかけて撮影
- **その他**：うまく3D化できていない部分はデータを手作業で修正



Matterport Pro2

- **公開サイト**

- **URL**: <https://www.city.kimitsu.lg.jp/soshiki/110/66220.html>

- **3Dデータ公開による期待効果**

- **アーカイブとしての保存**：
閉園となる3つの保育園の姿を、3Dデータとしてデジタルアーカイブ化
- **思い出の保存**：
在園していた子どもたちや保護者、地域住民にとって、いつでも思い出を振り返ることができる場所を提供。



みふねの里保育園の3Dデータ活用計画

- 3Dデータ作成について

- 撮影場補：みふねの里保育園
- スキャン方法：Matterport Pro2による撮影
- 撮影時期：2024年3月に撮影
- その他： 家具搬入前の何もない状態を撮影



みふねの里保育園の3Dスキャンデータ

- 3Dデータ活用計画

- メタバース空間を用いたオンライン見学
 - 課題：現状の3Dスキャンデータだとメタバース空間のマップとして利用するには画質が粗い
- バーチャル環境を用いたVR介入実験
 - 介入に関わる保育士の行動要因を明らかにすることにより、保育の質向上につなげる。



今後の進め方について

- 3Dスキャンデータの画質が粗く手作業による修正が必要という点があります。こちらについては専門の技術者と協力をして対応していく話を進めております。
- 合わせてみふねの里保育園の3Dデータ活用方法についての検討を進めております



Hoikutech

📍 **Focal Point 504050**